

自己有用感を高める3つの視点

いじめ・不登校・暴力行為等の未然防止事業(心の交流事業)

児童生徒の夢と笑顔を引き出すために

傾聴



共感



挑戦したい!



認めてくれる!

受容

任せてくれる!

自己有用感は、人との関わりの中でこそ生まれます。

いじめ・不登校・暴力行為等の未然防止のためには、児童生徒が主体的に取り組む協働的な活動等を通して、他者から認められ、他者の役に立っているという自己有用感を高めることが重要です。

本資料では、自己有用感を高める3つの視点とともに、児童生徒の視点に立った自発的・自治的な交流活動の事例を紹介します。

「先生、〇〇したい!」「役に立ちたい!」

児童生徒の自己有用感を高めるために、教師はどうすればいいの?

1 傾聴

児童生徒のありのままの声を聴いていますか?

- あいさつがなく、表情がさえないかったり、いつもと様子が違ったりする子に、積極的に声をかけていますか?
- あらゆる活動場面で、その子の話を最後まで聴く姿勢が教師にも他の児童生徒にもありますか?

児童生徒一人一人にとって、安心・安全な「居場所」をつくるためには、児童生徒に対する深い理解が不可欠です。



2 受容

児童生徒を信頼し、「待つ」視点がありますか?

- 児童生徒一人一人が活躍したり自己決定したりする場や機会がありますか? また、どの児童生徒にも役割がありますか?
- 「チャレンジしてみたいこと」「みんなで考えてみたいこと」等、児童生徒の思いや願いを引き出す授業づくりをしていますか?



活動場面の主体は児童生徒です。児童生徒の思いや願いから活動をスタートさせ、教師は解決の過程を安易に示すのではなく、児童生徒とともに考え悩みながら、ファシリテーターとしての役割を担うことが有効です。

3 共感

児童生徒が認めてもらいたいところを褒めていますか?

- 少し難しい課題で達成感を味わったり、他者と協力してやり遂げたりするなど、結果だけではなく解決の過程を大切に活動を設定していますか?
- 児童生徒一人一人の取組みに対して、認められたり感謝されたりするなど、活動の振り返りの時間を大切にしていますか?

児童生徒の実際の取組みに向き合い、その工夫や努力の過程を認めて、褒めることが大切です。

また、成功だけでなく失敗も認めたり励ましたりすることで、自信と次の活動意欲を育みます。



児童生徒理解を深め、信頼関係を築くために

今の自分を見つめてみよう



教師は、児童生徒の小さな変化に気付くアンテナをもつことが重要です。

そのために、児童生徒をよく観察するだけでなく、教師の方から積極的に話し掛け、話を最後までよく聴きましょう。

また、アンケート調査等によって、児童生徒と教師の認識のズレを見付けることもできます。



分析項目		質問項目				はい	どちらかといえば	どちらかと言えはいいえ	いいえ	主な対応
A 自尊感情	① 自主性、生活の中での自信	① 私は、良いところがあると思う。	1	2	3	4	認める・称賛するなどのかわりの充実			
		② 私は、自分のことが好きだ。	1	2	3	4				
		③ 私は、「やればできる」という気持ちで何でも挑戦している。	1	2	3	4				
	② 学習意欲、学習における自信	④ 私は、授業中、進んで発表している。	1	2	3	4				
		⑤ 私は、勉強ができるように努力している。	1	2	3	4				
		⑥ 私は、勉強することが楽しい。	1	2	3	4				
B 居場所づくり	① 学級に関する事	⑦ 私のクラスは、自分のやってみたいことに挑戦できる。	1	2	3	4	学級づくり・授業づくりの見直し			
		⑧ 私のクラスは、いろいろな活動に協力して取り組んでいる。	1	2	3	4				
		⑨ 私のクラスは、失敗しても認めてくれる。	1	2	3	4				
	② 学習に関する事	⑩ 私のクラスの人は、授業中、私の発表をよく聞いてくれる。	1	2	3	4				
		⑪ 私のクラスは、授業中、落ち着いて勉強している。	1	2	3	4				
		⑫ 私のクラスは、授業中、発表しやすいと思う。	1	2	3	4				
C 絆づくり	① 自分からのかかわり	⑬ 私は、まわりの人の役に立ちたいと思う。	1	2	3	4	子ども主体の交流活動・体験活動の充実			
		⑭ 私は、友達の気持ちや考えをよく聞くようにしている。	1	2	3	4				
		⑮ 私は、誰でも進んで仲良くするようにしている。	1	2	3	4				
	② 他者からのかかわり	⑯ 私は、まわりの人から感謝されたことがある。	1	2	3	4				
		⑰ 私は、自分の気持ちを分かってくれる友達がいる。	1	2	3	4				
		⑰ 私のクラスの人、私にいやなことをしたり言ったりしない。	1	2	3	4				
D 家庭や教師に関する事	① 家庭へのニーズ	⑰ 家族の人は、私のがんばりを認めてくれる。	1	2	3	4	家庭との連携、教育相談の充実			
		⑰ 私は、つらいとき、家族の人に相談できる。	1	2	3	4				
		⑰ 私は、家族の人といっしょにいると安心する。	1	2	3	4				
	② 教師へのニーズ	⑰ 先生は、私を褒めてくれる。	1	2	3	4				
		⑰ 先生は、つらいときに私を励ましてくれる。	1	2	3	4				
		⑰ いろいろな活動をするときに、先生は私たちに活動を任せてくれる。	1	2	3	4				

今の自分を見つめてみよう

検索



※香川県教育委員会事務局義務教育課Webサイト「生徒指導の充実」に実施用アンケート及び集計用エクセルを掲載しています。

効果的な取組みにするためには、「チームの力」で!

- 学校の教育目標のもと、「共通の関わり方」が共有されていますか?
- 全教職員が、全校児童生徒の理解に努め、情報を共有していますか?

一人の児童生徒を、多面的・多角的に理解するためには、多くの教職員の見立てが必要です。教職員一人が抱え込むことなく、「補い合う」関係をつくるために、日頃から雑談、役割分担、対応報告など、短時間でできる情報共有の積み重ねをしていきましょう。



学校内の交流

教師は、児童生徒が安心して、自己存在感や充実感を感じられる場所をつくりましょう。児童生徒は、その「居場所」で、多様な人との協働的な活動を主体的に行うことを通して、仲間との「絆」を深めていく過程を経験します。この経験の積み重ねが、自己有用感の高まりを促します。

多様で効果的な交流にするために…

- 「関わる喜び」が獲得できる活動の設定
- 年長者と年少者にとって互恵性のある活動の設定
 - ・年長者が、役に立ったと感じること
 - ・年少者が、年長者へのあこがれや未来の自己の成長の見通しをもつこと
- 成果が実感できるめあて(明確な課題)の設定

たてわり班遊び・清掃



異学年集団で毎日の清掃や様々な活動を計画・実行し、互いのよさを発見し合う。

【土庄町立土庄小学校】

音楽をかけたりして、みんなのためにできてよかったです。(6年男子児童) 他人を応援したり、お題を出したりするのが楽しかったです。(4年女子児童)

ふれあい班遊び



6年生をリーダーとして遊びを計画し、異学年と協力して様々な活動に取り組む。

【小豆島町立安田小学校】

学校外の交流

交流の場を学校外に広げていくと、「想定外の出来事」に出合います。その出来事を解決するためには、自分の考えをもつことや、他者と対話することなどが必要になります。教師は、児童生徒とともに、解決の方法を考えたり、児童生徒の考えを引き出したりすることが重要です。

広がり深まる交流活動にするために…

- 児童生徒の思いや願いからスタートする活動の設定
 - ・教師は、自己有用感を高める計画をしておく
- 想定外の出来事に対する多様な解決方法の保障
 - ・教師は、児童生徒を信頼し、支え見守る
- 活動の過程を評価する場面の設定
 - ・教師は、結果だけでなく、活動に取り組む姿勢、工夫や努力を褒め、児童生徒の自信を育む

本町小学校との交流活動



福栄小の全校児童が本町小に行き、大人数の中で、給食・清掃・交流活動を行う。

【東かがわ市立福栄小学校】

大浜小学校との交流活動



全校ゲームや交流給食、合同授業に取り組み、少人数ではできない多様な活動の体験をする。

【三豊市立曾保小学校】

ふれあいタイム



毎週月曜日の朝、各学級にて「構成的グループエンカウンター」で感情の交流を行う。

【三豊市立仁尾小学校】

演劇ワークショップ



児童集会等に演劇の手法を取り入れ、仲間とともに劇を創り出す体験をする。

【さぬき市立さぬき南小学校】

異学年交流学习



上学年が下学年に学習を教える活動では、分かりやすく説明する方法を考える。

【三豊市立本山小学校】

なかよし集会



なかよしになるための方法を考えたり、自己紹介カードの交換や全校ゲームをしたりして、友達のよさを知り仲良く活動する。

【三豊市立本山小学校】

コンサートを通じた交流会



事前に児童会役員が集まって、役割分担をしました。みんなに喜んでもらえるように、司会進行や曲紹介の言葉をみんなで考えることができました。

両校の児童会役員による企画・運営をもとにした交流活動とコンサートを通して、両校児童の交流を深める。

【三豊市立比地大小学校・笠田小学校】



ボランティア活動



親子で、ふるさと観音寺が誇る有明浜のボランティア清掃を行うなど、小・中学校間の交流を継続的に行う。

【観音寺市立観音寺中学校・観音寺小学校・高室小学校】

母校での清掃活動など



母校の小学校6年生に中学校生活の話をしたり、小学生や老人クラブと花植えをしたりして、役に立つ経験をする。

【さぬき市立さぬき南中学校
(写真はさぬき南小にて)】

あいさつボランティア活動



中学生が出身小学校でお世話になった先生方や小学生と一緒に、感謝の気持ちを込めてあいさつ運動をする。

【善通寺市立西中学校・吉原小学校・筆岡小学校・西部小学校・中央小学校(写真は吉原小にて)】

大島青松園訪問事前学習



2年団では、コンピュータ部の生徒が自ら作成したプレゼンテーションをもとに、ハンセン病についての学習を行う。

【まんのう町立満濃中学校】

なかま集会



なかま委員会の企画による「なかま集会」では、児童が主体的に集まり結成した「人権コーラス隊」による手話コーラスに合わせて全校合唱を行う。

【高松市立鶴尾小学校】

異学年での合唱練習



異学年で合唱練習を行い、よりよい合唱にしていけるためのアドバイスをし合う。また、生徒からの発案で、互いの学級へのメッセージを送り合い、励まし合う。

【坂出市立坂出中学校】



2年4組さんへ
今の歌にさらに工夫を加えて、本番では2年4組さんらしい曲に仕上げてくれることを期待しています。
(3年男子生徒)

こども園との交流会



全校児童と園児と一緒にサツマイモを収穫するなどの交流活動を定期的に行い、園児に喜んでもらえる体験を積み重ねる。【まんのう町立琴南小学校】

保育所との合同避難訓練



中学生が「レスキュー隊」となり、幼児の手を引いて安全に避難誘導を行い、頼られる体験をする。【三豊市立詫間中学校】

お接待ボランティア



総本山善通寺で、参拝に来られた方々に、温かいお茶を配るだけでなく、「どこから来られたのですか」から始めて、和やかに会話を膨らませながら人との関わりを楽しむ。【善通寺市立西中学校】

地域交流の夏祭り



6年生が手作りのゲームを準備し、呼び込みをしたり、訪れた様々な年代のお客さんに対応したりするなど、地域の方々に関わる体験をする。【さぬき市立石田小学校】



お接待ボランティアは、毎回友達と一緒に参加しています。ボランティアをしていると、いろいろな人と出会い、話をするができます。話をするのが、とにかく楽しいので、これからも参加したいです。